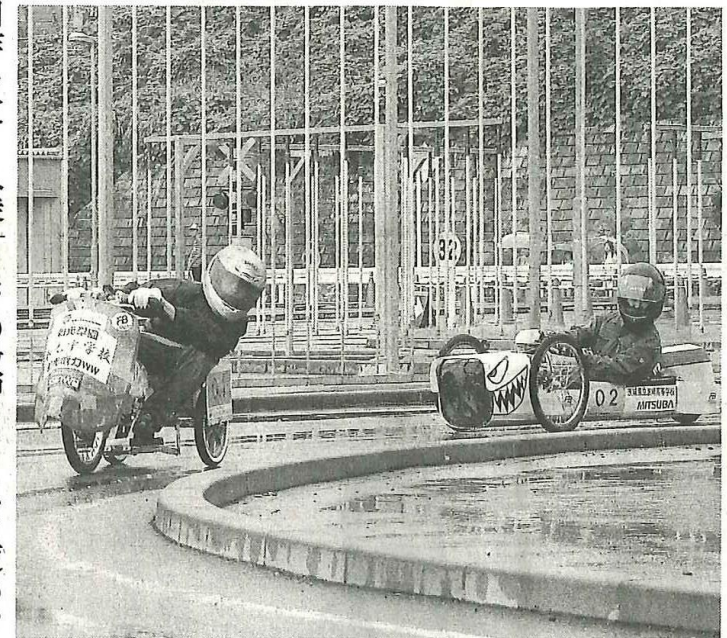


中高生 自作エコカーで競う



中高生が自作した1人乗りの小型電気自動車で行くタイムなどを競う「都市大エコーチャレンジカップ2014」が、多摩市の東急自動車学校で開かれた。参加者は個性豊かな車で観客を楽しませた。写真。

大会には都内や近県から16校18チームが出場。S字カーブなどもある1周50

0分の教習コースを使い、10周のタイムを競った。ブレーキ性能など製作技術も評価の対象となっており、特に東日本大震災後に節電意識が高まったことを受け、効率よく電気を使うことが重要視されている。

初参加で技術賞を受賞した都立多摩科学技術高校無線工作部は、一部のギアを旋盤を用いて作ったほか、バッテリーの残量を表示するシステムも自作した。運転した大串彩夏さん(17)は「モーターが焦げるなど何度もトラブルがあったが、完成まで1年かかったが、満足のいく出来だった」と笑顔だった。

デザインも評価されることから、白馬に引かれたカボチャの馬車や電車の車体を模したユニークな自動車も見られた。大会は、東京都市大学(世田谷区)が、学生たちにももの作りの楽しさや難しさを学んでもらおうと開催している。